

科目名	BIM・デジタルデザイン概論						年度	2024	
英語科目名	BIM Digital design Overview						学期	後期	
学科・学年	建築学科 1年次	必/選	選	時間数	15	単位数	1	種別※	講義
担当教員	瀧川 慧		教員の実務経験		有	実務経験の職種		建築設計	
<b>【科目の目的】</b> 図面の作成方法が手描き図面からCADに変わったように、現在はBIM(Building Information Modeling)が建築設計や建築施工に関わる人間にとって必須技能となりつつある。 本講座では、BIMの基本的な概念を理解し、代表的なBIMソフトであるAutodeskRevitの基本操作を学ぶ。									
<b>【科目の概要】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建築業界におけるBIMの役割を、BIMを活用した建築事例を基に講義する</li> <li>・代表的なBIMソフトであるAutodeskRevitを用いて、BIMの基本技術を習得する</li> <li>・BIMソフトの習得は、異なる規模の建築物を数回同じ手順でモデリングする事で技術定着を図る</li> </ul>									
<b>【到達目標】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・BIMの基本的な概念を理解すること</li> <li>・BIMソフトの基本的な操作方法を理解すること</li> <li>・BIMの社会的意義を理解し、今後の建築業界の働き方を理解すること</li> </ul>									
<b>【授業の注意点】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・BIMの基本技術取得は数回にわたって実施するため、欠席しないこと</li> </ul>									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう		レベル1 要努力				
到達目標 A	BIMの概念を理解し、 自身で積極的に 知識取得に努めている		BIMの概念を理解している		BIMの概念を理解していない				
到達目標 B	BIMソフトを使いこなし 関連するソフトの習得に 努めている		BIMソフトの基本的な操作方法 を理解している		BIMソフトの基本操作が不十分				
<b>【教科書】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul>									
<b>【参考資料】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各授業毎に参考Webサイトや資料を共有する</li> </ul>									
<b>【成績の評価方法・評価基準】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・BIM概念理解は小テストで評価する</li> <li>・BIMソフトの基本操作習得状況を提出物で評価する</li> </ul>									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		BIM・デジタルデザイン概論			年度	2024	
英語表記					学期	後期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価	
1	BIMとは	BIMの 基本概念を学ぶ	1	BIMの概念	・BIMの概念について理解している	1	
			2	BIMの社会的意義	・BIMを使う社会的意義について理解している		
			3	BIMソフトの種類	・BIMソフトの種類について理解している		
2	BIMソフトの 基本操作①	RC造2階建ての モデリング	1	モデリング	・BIMソフトの基本操作を理解している	2	
2			シート化	・モデリングから図面を書き出し、シート化できる	2		
4			3	周辺ソフト	・BIMソフトに加え、レンダリングソフトを使い パースを描きだせる	2	
5							
6	BIMソフトの 基本操作②	RC造3階建ての モデリング	1	モデリング	・BIMソフトの基本操作を理解している	2	
7			2	シート化	・モデリングから図面を書き出し、シート化できる	2	
8			3	周辺ソフト	・BIMソフトに加え、レンダリングソフトを使い パースを描きだせる	2	
9							
10	BIMソフトの 基本操作③	木造モデリング	1	モデリング	・BIMソフトの基本操作を理解している	2	
11			2	シート化	・モデリングから図面を書き出し、シート化できる	2	
12			3	周辺ソフト	・BIMソフトに加え、レンダリングソフトを使い パースを描きだせる	2	
13							
14	習熟度テスト	自身の BIMに関する知識と 技術の習熟度を測る	1	BIMの概念	・BIMについて基本的な概要を理解している	1	
15			2	BIMソフトの基本操作	・BIMソフトの基本操作を理解している	2	
			3	BIMの社会的意義	・BIMを活用して実現できる効果を理解できる	1	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他  
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった  
備考 等